学校番号	117

令和３年度　情報科

教科	情報科	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「社会と情報」（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- コンピュータを含むいろいろなコミュニケーション手段を用いて、情報とは何かについて考え、理解を深めましょう。
- 実践的・体験的な学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、良い使い方とは何かを考えましょう。
- グループワーク・発表など様々なコミュニケーション手段を通じて、コミュニケーションとは何か、理解を深め、その活用について考えてみましょう。
- コミュニケーションについて、ワークショップや演習等を通して考え、友だちとの交流の中で多面的な考え方があることを理解し、自分自身の考え方をしっかりと持ちましょう。
- コンピュータ、スマートフォン、SNS などの様々な問題（情報モラル）について、グループワークをする中でしっかりとした考えを持って、それらの問題に対処できるようにしましょう。

2　学習の到達目標

1　情報活用の実践力を身につけ、情報機器の使い方に関する知識や技能の習得はもとより、「情報」そのものに関する内容(情報の収集・判断・創造・発信)が理解できる。
2　情報を科学的に理解し、さらに情報を受信・発信するときの責任を理解した上で、ネットワークを利用したコミュニケーションを含め、情報社会に積極的に参画することができる。
3　日常のさまざまな問題を解決するために、コンピュータを含む情報機器等を活用して情報の収集や整理を行うことができる。
4　プロジェクト学習、グループワークの中で、コンピュータを含む情報機器等を活用した高度なコミュニケーションをとることができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・情報を多角的・多面的にとらえ、本質的な部分を見極めていこうとしている。 ・自らの情報活用を振り返り、評価し改善しようとしている。 ・情報モラルや情報に対する責任について考え行動している。 ・情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとしている。	・さまざまな事象を情報収集し、個々の視点だけでなく、それぞれ関係性から見える視点を捉えることができる。 ・問題の発見・解決に向けて情報収集し、情報技術を適切かつ効果的に活用することができる。 ・複数の情報の関係性を理解し、それらを統合的に整理して、新たな考えなどを見いだす事ができる。	・コンピュータを含めた情報と情報技術を活用するための基礎・基本的な技能を身に付け、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱うことができる。	・コンピュータを含めた情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法について理解している。 ・情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、および、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任について理解している。

評価方法	〈全体を通じて〉 出席状況の観察 個人用ワークシートの記述 グループワークシートの記述 振り返りシートの記述 相互評価 自己評価 〈あゆみルーブリック〉 学習状況の観察 〈作品用ルーブリック〉 グループワーク参加状況の観察 実習作品 情報モラル理解の確認 〈発表用ルーブリック〉 発表 情報モラル理解の確認	〈全体を通じて〉 個人用ワークシートの記述 グループワークシートの記述 振り返りシートの記述 〈あゆみルーブリック〉 学習状況の観察 〈作品用ルーブリック〉 グループワーク参加状況の観察 実習作品 情報モラル理解の確認 〈発表用ルーブリック〉 発表 情報モラル理解の確認	〈あゆみルーブリック〉 学習状況の観察 〈作品用ルーブリック〉 実習作品 〈発表用ルーブリック〉 発表	〈全体を通じて〉 個人用ワークシートの記述 グループワークシートの記述 振り返りシートの記述 〈あゆみルーブリック〉 学習状況の観察 〈作品用ルーブリック〉 実習作品 情報モラル理解の確認 〈発表用ルーブリック〉 発表 情報モラル理解の確認
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期・中間考査以後まで	プロジェクト学習A（物語を作ろう～ねらえ芥川賞～）	○基本的なパソコンの操作技術 ○ネットワークの概念 ○ワープロソフトの習得 ○企画書作り ○プレゼンテーション（グループ発表）	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a：コンピュータの基本的な仕組みに興味をもち、それらの学習に積極的に取り組もうとしている。 b：ネットワークの概念を理解し、それらについての利点や問題点について考えることができる。 c：グループワークによって、コミュニケーションを理解し、グループによる問題解決や情報交換をすすめることができる。 d：作品制作・発表を通して、さまざまなコミュニケーションのあり方を理解することができる。	あゆみ グループワークシート 個人用ワークシート 授業観察 グループワーク観察 作品 発表 別表・ルーブリックA

1学期・中間考査以降から2学期・はじめまで	プロジェクト学習B（情報モラル～明日への対策～）	・情報モラル理解のための学習（ディスカッション） ・情報モラル事例の分析・検証 ・事例検討のためのケーススタディ ・フォトランゲージによる情報受信・情報発信の分析・検討 ・メディアリテラシーの理解と分析・検討	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	a：情報モラルとは何かを理解し、各事例において検討・分析をし、その問題点について考えることができる。 b：各事例においてその内容をしっかりと掌握し、それらを適切に活用する手段を検討することができる。 c：問題解決のためのさまざまな方法を考え、目的に応じて、適切な解決方法を選択することができる。 d：グループワークによって、コミュニケーションを理解し、グループによる問題解決や情報交換をすすめることができる。	あゆみ グループワークシート 個人用ワークシート 授業観察 グループワーク観察 発表
2学期・8月から10月はじめまで	プロジェクト学習M（未来予想図～シミュレーション講習～）	・インターネットの利用と検索システムの理解 ・表計算ソフトの概念の理解とその操作技術 ・シミュレーションの概念の理解 ・レポートの作成方法とその理解	○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○	 ○	a：インターネットの基本的な仕組みに興味をもち、それらの学習に積極的に取り組もうとしている。 b： 表計算ソフトの基本的な仕組みに興味をもち、さらにシミュレーションについても興味を持ち、それらの学習に積極的に取り組もうとしている。 c：グループワークによって、コミュニケーションを理解し、グループによる問題解決や情報交換をすすめることができる。 d：レポート作成の意味を理解し、公開するためのレポートを作成することができる。	あゆみ グループワークシート 個人用ワークシート 授業観察 グループワーク観察 レポート 別表・ルーブリックM

2学期・10月中旬から期末考査前まで	プロジェクト学習C（これぞ私のおすすめ）	○メールソフトの利用とマナー ○プレゼンテーションソフトの基本概念の理解と操作技術 ○コミュニケーションにおける思考の展開方法 ○プレゼンテーションの基本概念の理解とその技法 ○プレゼンテーション	○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:プレゼンテーションソフトの基本的な仕組みに興味をもち、それらの学習に積極的に取り組もうとしている。 b:情報モラルとは何かを理解し、検討・分析をし、その問題点について考え、その手段を検討することができる。 c:グループワークによって、コミュニケーションを理解し、グループによる問題解決や情報交換をすすめることができる。 d:作品制作・発表を通して、さまざまなコミュニケーションのあり方を理解することができる。	あゆみ グループワークシート 個人用ワークシート 授業観察 グループワーク観察 作品 発表 別表・ルーブリックC
2学期・期末考査前から3学期まで	プロジェクト学習D（News Triangle～ニュース番組作成～）	○プレゼンテーションソフトの応用とその操作技術 ○情報の収集、判断、創造、発信の理解と総合的な活用 ○多角的な視点の理解をその総合的な活用 ○より高度なプレゼンテーション技術 ○プレゼンテーション（グループ発表）	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:プレゼンテーションソフトの高度な仕組みに興味をもち、それらの学習に積極的に取り組もうとしている。 b:情報モラルとは何かを理解し、検討・分析をし、その問題点について考え、その手段を検討することができる。 c:グループワークによって、コミュニケーションを理解し、グループによる問題解決や情報交換をすすめることができる。 d:作品制作・発表を通して、さまざまなコミュニケーションのあり方を理解することができる。	あゆみ グループワークシート 個人用ワークシート 授業観察 グループワーク観察 作品 発表 別表・ルーブリックD

※ 表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

※ 以下のページから別表のルーブリックを記載する。

プロジェクト A・作品制作用ルーブリック
物語を作ろう～ねらえ、芥川賞！～

観点		レベルS 大変素晴らしい	レベルA よく出来ている	レベルB もう少し	レベルC 改善が必要
創造	イメージの広がり イメージマップで多くのことを想像できているか	イメージマップの作成において、グループで 150 個以上のキーワードを挙げた	イメージマップの作成において、グループで 100～149 個のキーワードを挙げた	イメージマップの作成において、グループで 30～99 個のキーワードを挙げた	イメージマップの作成において、グループで 29 個以下のキーワードしか挙げられなかった
	内容 聞き手が興味を持つ内容かどうか		レベル B に加え、聞き手にとって興味のある内容であった	物語の内容が独創的であった	物語の内容が独創的でなかった
絵	イメージの視覚化 考えた物語が絵で表現できているかどうか	レベル A に加え、物語の全体像を掴める絵であった	レベル B に加え、聞き手にとって理解しやすい絵であった	物語と関係しているものを絵で表現することができた	物語と関係のないものが描かれていた
チームワーク	協調性 グループ内で協調性があったかどうか	レベル A に加え、グループ内で出た複数の意見を調整したり、まとめたりすることができた	レベル B に加え、自分の意見を言うことができた	グループ内で相手の意見を受け入れることができた	グループ内で相手の意見を受け入れることができなかった
	役割 グループ内で自分の役割を果たすことができているか	レベル A に加え、他のメンバーのフォローができた	グループ内で与えられた役割を積極的に果たすことができた	グループ内で与えられた役割を果たすことができた	グループ内で与えられた役割を果たすことができなかった

モラル　人を傷つけるような表現・不適切な表現をしてはいけない

プロジェクト A・発表用ルーブリック
物語を作ろう～ねらえ、芥川賞！～

観点	レベルS 大変素晴らしい	レベルA よく出来ている	レベルB もう少し	レベルC 改善が必要
発表内容 聞き手が興味を持つ内容かどうか		レベル B に加え、聞き手にとって興味のある内容であった	物語の内容が独創的であった	物語の内容が独創的でなかった
姿勢 聞き手を意識しながら発表することができたかどうか	レベル A に加え、身振り手振りを効果的に使うことができた	聞き手の方を向いて話すことができた	比較的聞き手の方を向いて話すことができた	聞き手の方を向いて話すことができなかった
声 はっきりと聞こえる声で話すことができたかどうか	レベル A に加え、内容に応じて抑揚をつけることができた	教室の後ろまではっきりと聞こえる声で話すことができた	教室の後ろまでぎりぎり聞こえる声で話すことができた	教室の後ろまで聞こえる声で話すことができなかった
話す速さ 適切な速さで話すことができたかどうか	内容に応じて、話す速さを変えることができた	聞き取りやすい速さで話すことができた	比較的聞き取りやすい速さで話す事ができた	聞き取りやすい速さで話すことができなかった
発表時間	JUST TIME 2:30 / 2:40 / 2:50 / **3:00** / 3:10 / 3:20 / 3:30 レベルC / レベルB / レベルA / レベルS / レベルA / レベルB / レベルC			

プロジェクトM～シミュレーション講習…未来予想図…～
・レポート作成ルーブリック

	レベル S 大変素晴らしい	レベル A よく出来ている	レベル B もう少し	レベル C 改善が必要
仮説（予想） 問題の意味を理解し、適切な仮説を立てることができたかどうか	複数の条件を設定し、説得力のある仮説を立てることができた	B に加え、論理的な理由を付けることができた	ある条件をもとに仮説を立てることができた	仮説を立てることができなかった
条件 シミュレーションを行う条件を設定することができたかどうか	意味を持った複数の条件を立てることができた	複数の条件を立てることができた	条件をひとつ立てることができた	条件を立てることができなかった
結果の読み取り 表やグラフからわかる事実を読み取ることができたかどうか	A に加えて、複数の結果を比較し事実を読み取ることができた	B に加え、表やグラフのある部分の変化に気づくことができた	全体の傾向を正しく読み取れている	全体の傾向を読み取れなかった
考察 読み取れることをもとに自分の考えを述べることができたかどうか	複数の条件で読み取れた事実から、それらを関連させて自分の考えを書くことができた	ある条件で読み取れた複数の事実から、それらを関連させて、自分の考えを書くことができた	ある条件で読み取れた 1 つの事実から、自分の考えを書くことができた	自分の考えを書くことができなかった

プロジェクト C - プレゼンテーション～これぞ私のおすすめ!!～
作品用ルーブリック

	レベル S 大変素晴らしい	レベル A よく出来ている	レベル B もう少し	レベル C 改善が必要
内容 おすすめ※1するポイントに自分の経験がうまく表現されているか	おすすめするポイントが、自分の経験を踏まえており、聴衆が実行してみたいと思うものである	おすすめするポイントが、自分の経験を踏まえており、聴衆の興味を惹くものである	おすすめするポイントが、自分の経験を踏まえている	おすすめするポイントが、自分の経験を踏まえていない
キャッチコピー※2 おすすめするものの良さをキャッチコピーとしてまとめられているか		おすすめするもののよさをキャッチコピーの中にまとめられており、聴衆の興味を惹くものである	おすすめするもののよさをキャッチコピーの中に入れる事ができている	おすすめするもののよさをキャッチコピーの中に入れる事ができていない
スライド※3 見る人を意識したわかりやすいスライドになっているか	レベル A に加えて、デザイン性が高い	スライドが全体的にわかりやすく工夫されており、アニメーションが効果的に使われている	スライドが全体的にわかりやすく工夫されている	スライドがわかりにくい
情報モラル 画像・文章の引用が適切に行われているか		画像・文章等を引用する際に、適切な表記をすることができている		画像・文章等を引用する際に、適切な表記をすることができていない

※1 おすすめと紹介の違い

おすすめ・・・「ほしい！」「やってみたい！！」と思わせるように工夫して伝えること　　紹介・・・単に伝えること

※2 キャッチコピー・・・人の注意を引くことを目的とし、おすすめするものの魅力を引き出したり、おすすめしたいポイントがまとめられたフレーズや文章のこと

※3 わかりやすいスライド・・・スライドを見たときにそれが何であるかがわかるように、文字やオートシェイプ、写真などの量、大きさ、色合いが見やすく工夫されていること。

プロジェクトＣ プレゼンテーション　～これぞ私のおすすめ～
発表用ルーブリック

	レベル S 素晴らしい	レベル A よく出来ている	レベル B もう少し	レベル C 改善が必要
発表内容 聴衆の興味を惹くことができたかどうか	レベル A に加え、聴衆が実行してみたいと思うものであった	おすすめするポイントで自分の経験を踏まえて話すことができ、聴衆が興味を惹くものであった	おすすめするポイントで自分の経験を踏まえて話すことができた	おすすめするポイントで自分の経験を踏まえて話すことができなかった
スライド利用 発表する際、スライドを効果的に利用できたかどうか	レベル A に加え、聴衆の記憶に残るものであった	発表内容に沿って、工夫しながらスライドを利用することができた	発表内容に沿って、スライドを利用することができた	発表内容に沿って、スライドを利用することができなかった
姿勢 聴衆を意識しながら、発表することができたか	レベル A に加え、内容に応じて、身振り手振りを効果的に使うことができた	聴衆を見渡して発表することができた	聴衆を見て発表することができた	聴衆を見て発表することができなかった
声 はっきりと聞こえる声で話すことができたかどうか	レベル A に加え、内容に応じて、声の大きさを変えることができた	全ての聴衆にはっきりと聞こえる声で話すことができた	全ての聴衆に聞こえる声で話すことができた	全ての聴衆に聞こえる声で話すことができなかった
話す速さ 適切な速さで話すことができたかどうか	レベル A に加え、内容に応じて話す速さを変えることができた	ほとんど詰まることがなく、適切な速さで話すことができた	適切な速さで話すことができた	適切な速さで話すことができなかった
発表時間	1:35 1:45 1:55 2:05 2:15 2:25 C B A S A B C			

※おすすめと紹介の違い
紹介・・単に教えること
おすすめ・・「ほしい!!」、「やってみたい!!」と思わせること

プロジェクトＤ　News Triangle～作品制作用ルーブリック～

		レベル S 素晴らしい	レベル A 良くできている	レベル B もう少し	レベル C 改善が必要
協働	***役割*** グループ内で自分の役割を果たせたかどうか	グループ内で役割分担をして、積極的に自分の役割を果たし、さらに、**他のメンバーのサポート**もできた	グループ内で役割分担をして、積極的に自分の役割を果たすことができた	グループ内で役割分担をして、自分の役割を果たすことができた	グループ内で役割分担をしなかった、または、役割分担をしたが、自分の役割を果たすことができなかった
	コミュニケーション 議論を活発にするようなコミュニケーションができたかどうか	*レベル A* に加えて、**議論を活発にさせ、かつそれぞれの意見を調整する**ことができた	レベル B に加えて、他の人が意見を述べるように促すことができた	自分の意見を述べることができ、他の人の意見に耳を傾けることができた	自分の意見を述べることができなかった、または、他の人の意見に耳を傾けることができなかった
作品	***スライド*** 見る人を意識した分かりやすいスライドになっているか	*レベル A* に加えて、(※１)**見る人が理解しやすいような工夫**ができた	統一感のある(※２)**見やすいスライド**にすることができた	統一感のあるスライドにすることができた	統一感のあるスライドにすることができなかった
	内容 一つのニュースに対して、内容を理解しまとめることができたかどうか	*レベル A* に加えて、記事の内容を**分析し、その結果を(※３)考慮した提言**を生み出すことができた	集めた情報をもとに、記事の内容、視点をそれぞれ関連付けてまとめることができた	集めた情報をもとに、記事の内容、視点をまとめることができた	集めた情報をもとに、記事の内容、視点をまとめることができなかった
情報モラル	***著作権の理解*** 著作権を理解した上で、情報収集と作品制作ができたかどうか	引用元や URL を記載する**必要性を理解**した上で、情報収集と作品制作をすることができた		引用元や URL を記載して、情報収集と作品制作をすることができた	引用元や URL を記載して、情報収集と作品制作をすることができなかった
	情報収集 信ぴょう性に気をつけたり、多面的に捉えたりしながら情報収集をすることができたかどうか	情報の信ぴょう性をさらに高めるために、関連する書籍や**複数**のサイトを使って必要な情報を収集することができた	インターネットで信頼できる情報源から信ぴょう性の高い情報を収集することができた	必要な情報を収集することができた	必要な情報を収集することができなかった
	適切な表現 情報収集・作品制作の際に、適切な表現を選択をすることができたかどうか		情報収集・作品制作の際に、適切な表現(※４)を選択することができた		情報収集・作品制作の際に、適切な表現(※４)を選択することができなかった

※1　見る人が理解しやすいような工夫・・・画像や図形などを適切に使い説明を分かりやすくする工夫。
※2　見やすいスライド・・・文字や図の量・色・大きさ、アニメーションが適切であるスライドのこと。また話の流れが工夫されているかどうかも含む。
※3　考慮した提言・・・各視点の良さを十分に踏まえ、かつ現実的でより良くなるような意見や考えのこと。
※4　適切な表現・・・人権上の配慮をして、人を不愉快にさせない表現

プロジェクトＤ　News Triangle～発表用ルーブリック～

	レベル S 素晴らしい	レベル A 良くできている	レベル B もう少し	レベル C 改善が必要
放送内容 ３つの視点を含め、どれだけ内容が充実していたか	レベル A に加え、聴衆が考えさせられるような放送内容であった	レベル B に加え、その根拠が聴衆にとって分かりやすいものであった	3 つの視点とそれぞれの意見を挙げており、その根拠を説明することができた	3 つの視点とそれぞれの意見を挙げることはできたが、その根拠を説明することができなかった
スライド活用 効果的にスライドを利用することができたか	レベルＡに加え、(※１)視覚効果を効果的に使うことができた	レベル B に加え、効果的にスライドを活用できていた	放送内容に沿ってスライドと話す内容を合わせることができた	放送内容に沿ってスライドと話す内容を合わせることができなかった
放送態度 ニュース番組としてふさわしい態度で放送することができたか	レベル A に加え、身振り手振りを効果的に使い放送することができた	スライドを見ることがほとんどなく、前を向いて堂々と放送することができた	スライドをあまり見ることなく前を向いて放送することができた	前を向いて放送することができなかった
声 聞き取りやすい声の大きさで話すことができたか	レベル A に加え、自分の役割や話す内容に応じて声の大きさを変えることができた	全ての聴衆にはっきりと聞こえる声で話すことができた	全ての聴衆にぎりぎり聞こえる声で話すことができた	全ての聴衆に聞こえる声で話すことができなかった
話す速さ 内容に合わせて話す速さを変えることができたか	レベル A に加え、内容に応じて話す速さを変えることができた	スムーズに聞き取りやすい速さで話すことができた	詰まりながらもほぼ適切な速さで話すことができた	適切な速さで話すことができなかった

時間				JUST TIME			
	3:05	3:15	3:25	**3:30**	3:35	3:45	3:55
	レベル **C**	レベル **B**	レベル **A**	レベル **S**	レベル **A**	レベル **B**	レベル **C**

※視覚効果・・・・図、グラフ、写真、アニメーションなど
【注意事項】①ニュース放送にふさわしくない言葉は使わない
②ニュース放送にふさわしくない態度はとらない

あゆみ用ルーブリック

	レベル A よく出来ている	レベル B もう少し	レベル C 改善が必要
内容がしっかり書けているものであるか	**B に加えて自分の考えが書かれている**	**授業で学んだことが自分の言葉で書かれている**	**授業でやったことや、感想しか書かれていない**

- 今日の授業内容を整理して書こう　(箇条書き)
- 自分の反省や改善点、意見、感想などを書こう
- 周りの友達やグループワークの様子・動きを書こう
- 次の授業の計画を考えて書いておこう
- 目標の到達度は数字で入力しましょう

※　あゆみ…毎回授業の最後に行う振り返り。表計算ソフトを利用して記入させている。